

コニカミノルタ株式会社

2019 年（平成31年）3月期 第2四半期 決算説明会

主な質問と回答

日 時： 2018 年 10 月 30 日（火） 17:30 ～ 18:30

場 所： 野村コンファレンスプラザ日本橋

<ご留意事項>

「主な質問と回答」は、決算説明会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

【全社業績に関して】

Q：CRE 戦略に伴う費用が下期に約 60 億円発生するということですが、用途などを教えてください。

A：通期では約 70 億円となりますが、老朽化した建屋の耐震性の強化など、修繕撤去費用に充てる予定です。

【事業に関して】

Q：地域別の売上構成比に関して、足元ではインドが非常に伸びているということでしたが、今後どの地域が成長のドライバーになるのでしょうか？

A：当然ながら先進国の強化も進めますが、中国、インド、ASEAN、東欧などのカラー化率が相対的に低い市場は当社の強みが生かせる地域として、積極的に伸ばしたいと考えています。

Q：ノンハードが前年比で伸ばしていますが、持続性はどのように見えていますか？

A：オフィスは欧米でのハイブリッド販売の強化などが奏功してカラー高速機の販売が伸びており、市場の設置台数およびプリントボリュームも増えていきますので、持続性はあると見えています。

プロフェッショナルプリントにおいても、MPP での台数成長に加えて、高付加価値オプション製品 IQ-501 の装着効果で 1 台あたりのプリントボリュームが増加していますので、持続的な成長は可能と見えています。2019 年度には HPP 領域への参入および LPP、ELPP の新製品投入も予定していますので、さらに加速させたいと考えています。

Q: 今回の業績予想の見直しで、新規事業の予想値を修正した背景を教えてください。

A: バイオヘルスケアでは2Qも会社計画に対してインラインで進捗していますが、Workplace Hubの販売開始が1カ月ほど遅れたことで、年度末に見込んでいた収益が2019年度にずれ込むといったリスクがある程度堅めに織り込んで、マイナス幅を見直したという経緯です。

以上